

## 会議結果報告書

令和4年11月24日

1 会議日時	令和4年11月1日
2 場 所	議員全員協議会室
3 件 名	高校魅力化プロジェクトの推進
4 出席者	市長、副市長、教育長、各部長級職員、総務課長、財政課長、政策推進課長、政策推進課関係職員
5 会議結果	<input type="checkbox"/> 案のとおり決定する <input type="checkbox"/> 一部修正の上、決定する <input type="checkbox"/> 継続して検討する <input type="checkbox"/> 案を否決する <input checked="" type="checkbox"/> 報告を了承する
6 会議内容	●三瓶分校の公営塾に関しては、現在の1年生が卒業するまで分校も存続し、その間は公営塾も運営を行う。 ●高校の魅力化については、市長部局、教育部局と協力して推進する。

備考：会議内容を簡潔に記載すること

## 重要計画付議(報告)書

令和4年10月24日

部課名(まちづくり推進課)

1 件名	高校魅力化プロジェクトの推進
2 計画の概要	<p>西予市内にある県立高等学校の入学者は定員に満たない状況が続いており、今後、市内県立高校の存続が懸念されている。市内の教育環境の衰退は、若者の流出や移住の阻害要因となり、人口減少を加速度的に進める恐れがある。</p> <p>令和2年度に西予市内県立高等学校魅力化推進協議会を設置し、将来の県立高校の在り方及び高校の特色化・魅力化についての検討を行うほか、各校委員会や各校WG、公営塾ネットワークを組織し、それぞれの目的に応じた協議検討を行うこととしている。</p> <p>市では、魅力化を進める手段の一つとして令和2年9月から三瓶分校に、令和3年7月から野村高校に公営塾を設置し運営を行っている。令和4年度には宇和高校に設置予定としている。</p> <p>また、愛媛県県立学校振興計画の策定が進められており、その動向を見極めつつ市内高等学校の在り方の方向性を確定させる必要がある。加えて、三瓶分校においては、令和5年度からの募集停止が現実的となり三瓶の子どもたちに対するサポート体制を整えていく必要があり、それをきっかけとして市内全体の支援を検討していく。</p>
3 関係法令等	-
4 関係課	-
5 その他	-

備考：計画書を付議又は報告する場合に使用

## 【現状報告】

### ●西予市内県立高等学校魅力化推進協議会

- 4/26 三瓶分校委員会（第1回）・・・給食提供検討結果についてほか
- 8/2 宇和高校委員会（第1回）・・・県立学校振興計画(案)について、今後の魅力化について
- 8/3 野村高校委員会（第1回）・・・公営塾の取組状況、県立学校振興計画(案)について
- 8/4 三瓶分校委員会（第2回）・・・公営塾の取組状況、県立学校振興計画(案)について
- 8/9 魅力化推進協議会・・・県立学校振興計画(案)について、各高校及び公営塾取組状況ほか

### ●愛媛県県立学校振興計画（案）

宇和高校：普通科・農業科を改編 ⇒ 令和8年度から「総合学科」開設

3学級 定員120名（コース：文理探究、情報マネジメント、スポーツ、生物工学などを想定）

野村高校：令和6年度から魅力化推進校の基準を適用（普通科40名、農業科40名）

※入学生数の減少が継続する場合は、後期計画(R10～)において地区内での統合等が検討される

8/10 第1回八西・西予地区地域説明会（八幡浜会場 ゆめみかん）

10/15 第2回八西・西予地区地域説明会（西予会場 県歴史文化博物館）

計画(案)への強い反対意見は無し。第1回説明会では、中高一貫校を設置する案に対する確認。第2回説明会では、地場産業(林業や養蚕等)に特化した学科新設を求める声などがあつた。

### 今後の動き

県は、振興計画の実施のため、高校ごとに市町行政や地域住民などを含めた準備委員会を設置し、具体的な準備を進める。市としては、市内県立高等学校魅力化推進協議会や各校委員会で準備委員会の状況を報告し、ご意見を頂戴しながら、集約して準備委員会に提出する。

## ●公営塾

講師：8月から新たに公営塾スタッフ1名が加わり、野村あやぐも塾を中心に活動

塾生：三瓶C-LAB 19名、野村あやぐも塾 23名 計42名（10月末現在）

開塾日：10月から野村あやぐも塾 週2回 ⇒ 週3回に拡充

その他：宇和公営塾のスタッフを募集中だが、まだ決まっていない

### スタッフの今後について

・会計年度任用職員から田舎で働き隊(個人事業主)の地域おこし協力隊に切り替えることで、隊員の活動の幅を広げ、卒業後の定住に向けた活動につなげることを検討中。なお、西予市移住定住交流センターに公営塾運営業務を委託し、地域おこし協力隊(公営塾スタッフ)の管理支援を行う方向で調整中。また、令和5年度から高校魅力化事業は教育部に所管替えとなるが、公営塾業務を移住定住交流センターに委託することで、地域おこし協力隊とまちづくり推進課の関係を維持することができ、支援も継続できると考える。

## ●高校生料理対決

今年度は準備期間として実行委員会でテーマや会場・開催日などの検討を進め、来年度実施する。



10/14 第1回実行委員会を開催（生徒7名出席）

実行委員長：井上廉(宇和高校) 副実行委員長：菊池沙雪(三瓶分校)、伊井才喜(野村高校) に決定

目的：西予市(西予市産品)の魅力をPRすること！+高校の魅力PRにもつながれば◎

11/11 高校生が主体となって第2回実行委員会を開催予定

## 【政策立案】

### ●市内県立高等学校遠距離通学費補助事業について

10/4 第7回行政経営戦略会議にて報告

10/28 行政報告会にて議会へ報告

#### 今後の動き

- ・西予市内県立高等学校魅力化推進協議会への報告
- ・市内高校及び中学校への説明(周知)